

第5章

安心・安全

第1節 携帯電話のマナー

自身の行動、他者の気になる行動

第2節 携帯電話のセキュリティ対策

セキュリティ対策、子どもへのフィルタリング

第1節

携帯電話のマナー

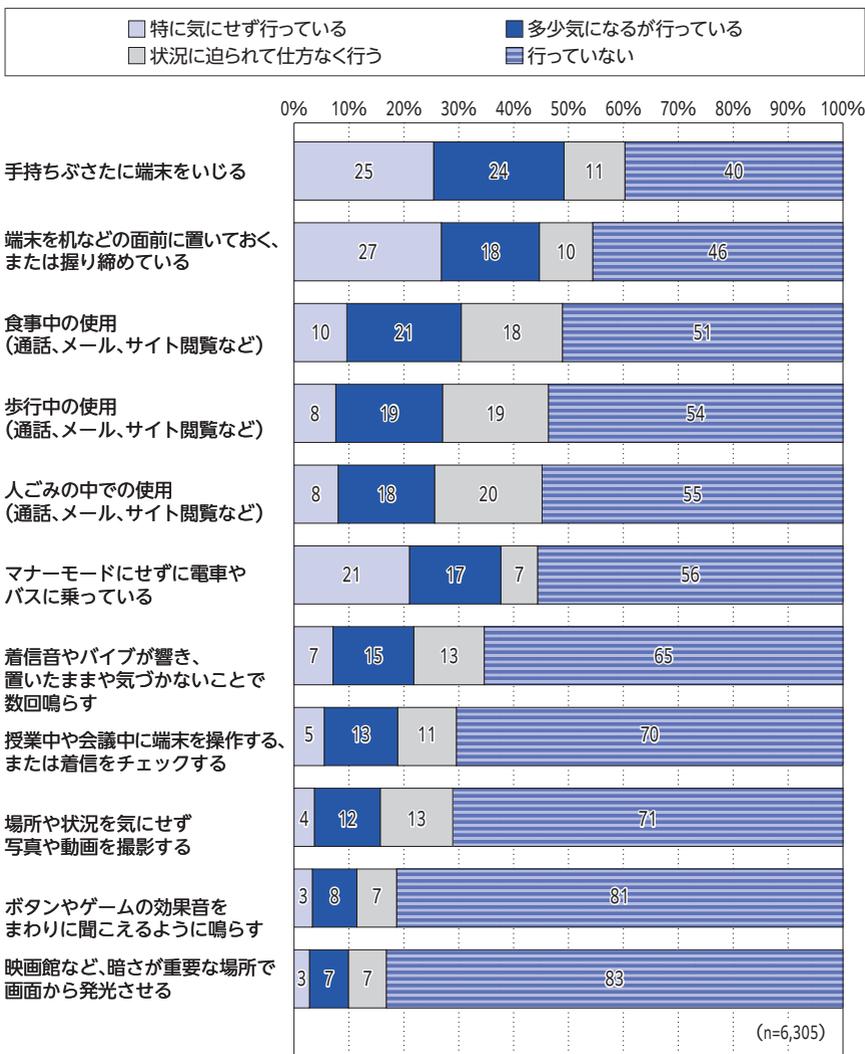
自身の行動、他者の気になる行動

ポイント

- 「歩行中の使用」「食事中的使用」は、30代以下で携帯電話所有者の6～7割程度が行っている(資料5-2、資料5-3)。
- 他者が「歩行中」「食事中」に携帯電話を使用していることを、60代以上の4割程度が「気になる」と回答(資料5-5、資料5-6)。

資料5-1a 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動 (単一回答)

- 最も多い行動としては「手持ちぶさたに端末をいじる」となっている。
- 4割以上の人は「食事中」「歩行中」「人ごみの中」での携帯電話の使用を行っている。

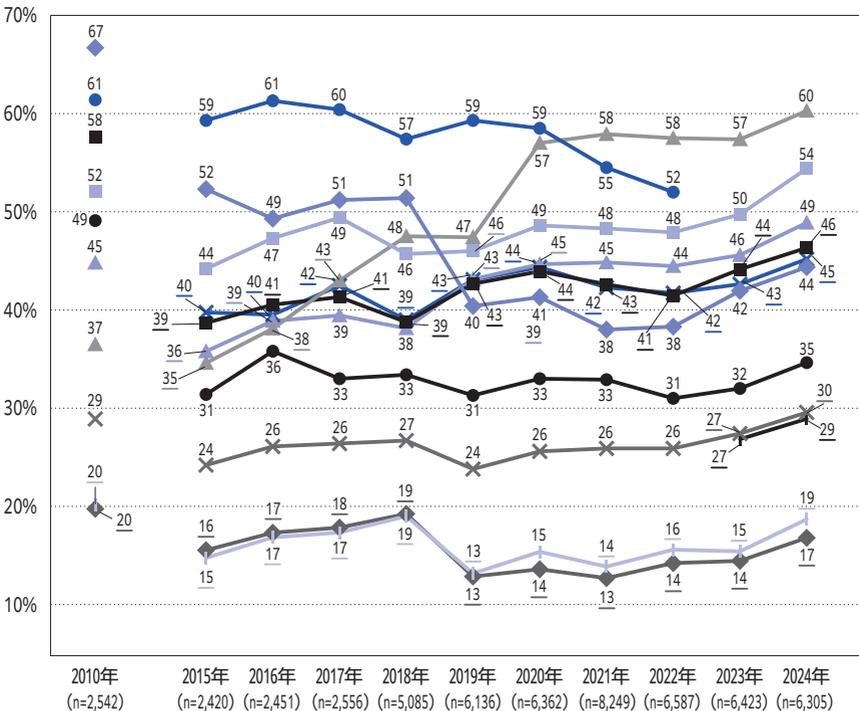
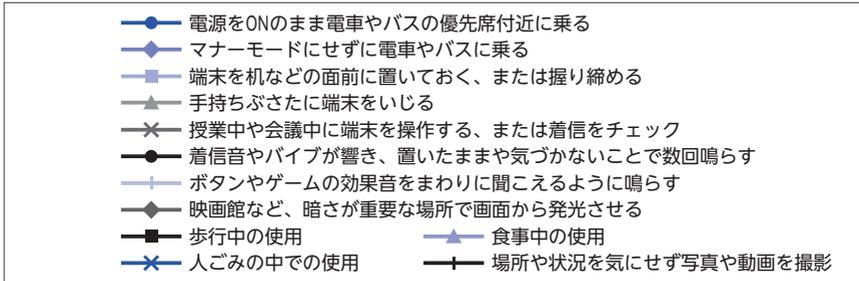


注：携帯電話所有者が回答。

出典：2024年一般向けモバイル動向調査

資料5-1b 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動の年次推移(単一回答)

●「端末を机などの面前に置いておく、または握り締める」は緩やかに増加の傾向。



注1: 「特に気にせず行っている」「多少気になるが行っている」「状況に迫られて仕方なく行く」の合計。

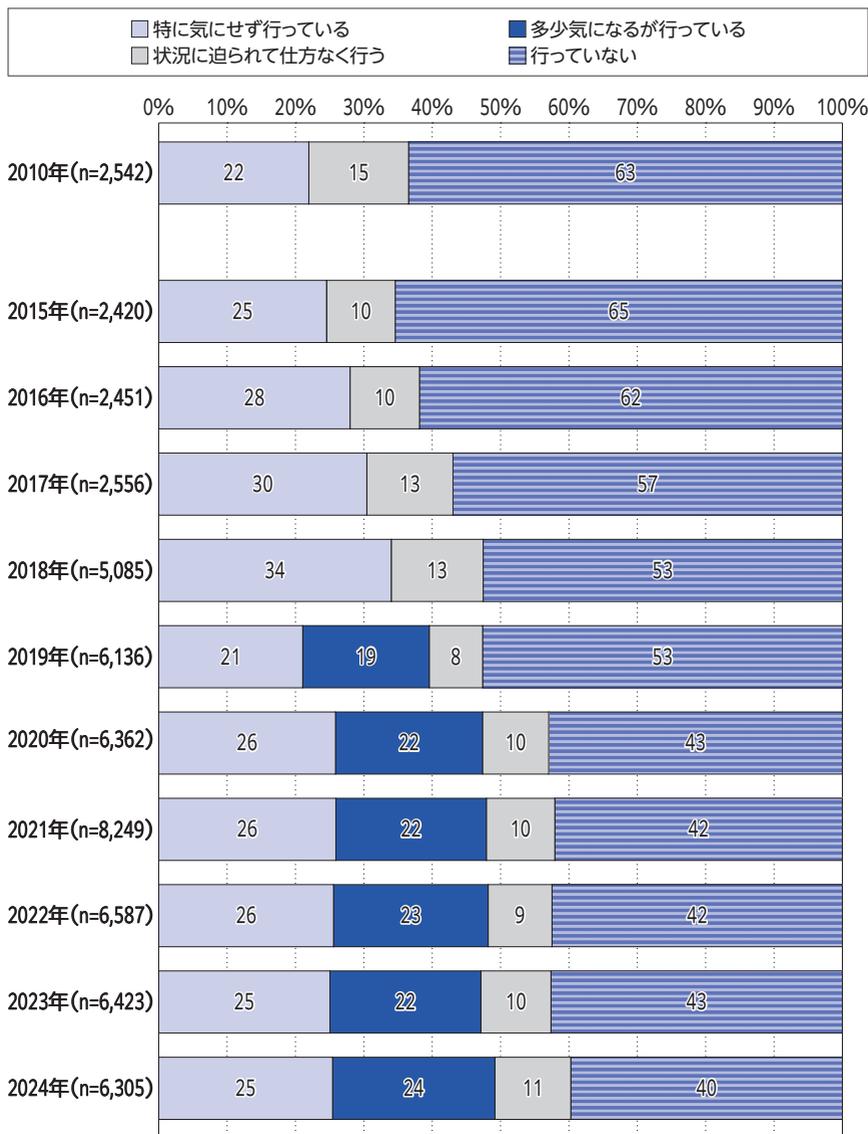
注2: 携帯電話所有者が回答。

注3: 「電源をONのまま電車やバスの優先席付近に乗る」は2022年まで聴取。

出典: 2010年-2024年一般向けモバイル動向調査(2011年-2014年は非聴取)

資料5-1c 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動 —手持ちぶさたに端末をいじる—(単一回答)

●2024年も前年と同様に約6割の人が行っている。

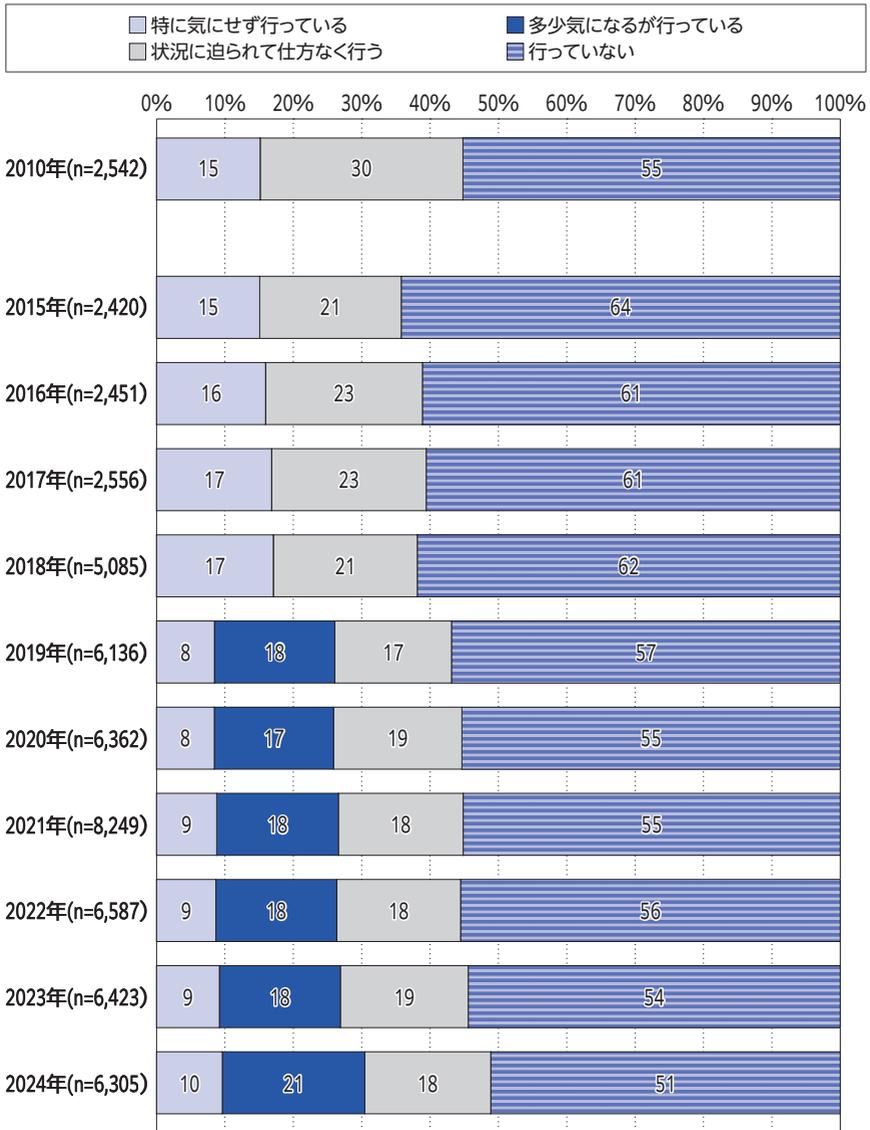


注：携帯電話所有者が回答。

出典：2010年-2024年一般向けモバイル動向調査(2011年-2014年は非聴取)

資料5-1d 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動
—食事中の使用(通話、メール、サイト閲覧など)—(単一回答)

●食事中の使用は約5割が行っている。

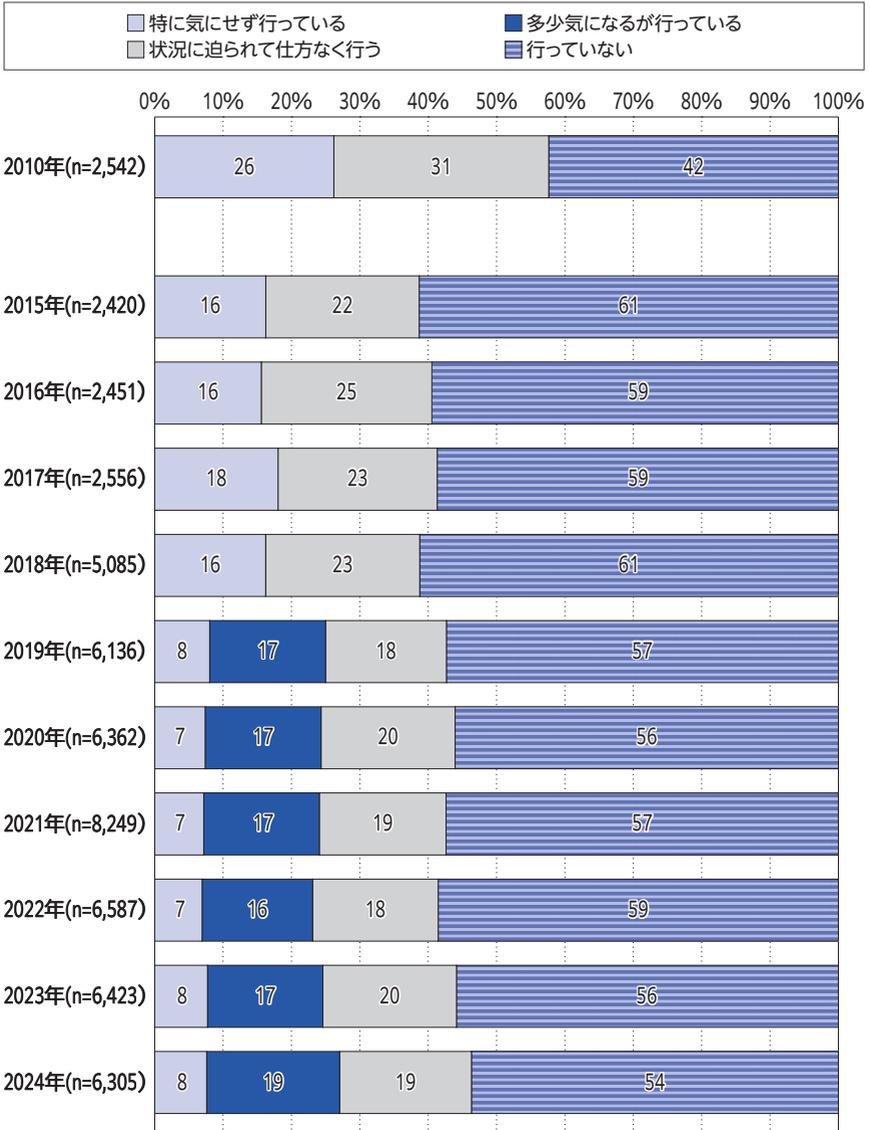


注：携帯電話所有者が回答。

出典：2010年-2024年一般向けモバイル動向調査(2011年-2014年は非聴取)

**資料5-1e 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動
—歩行中の使用(通話、メール、サイト閲覧など)—(単一回答)**

●歩行中の使用は約5割が行っており、時系列での変化はあまりない。

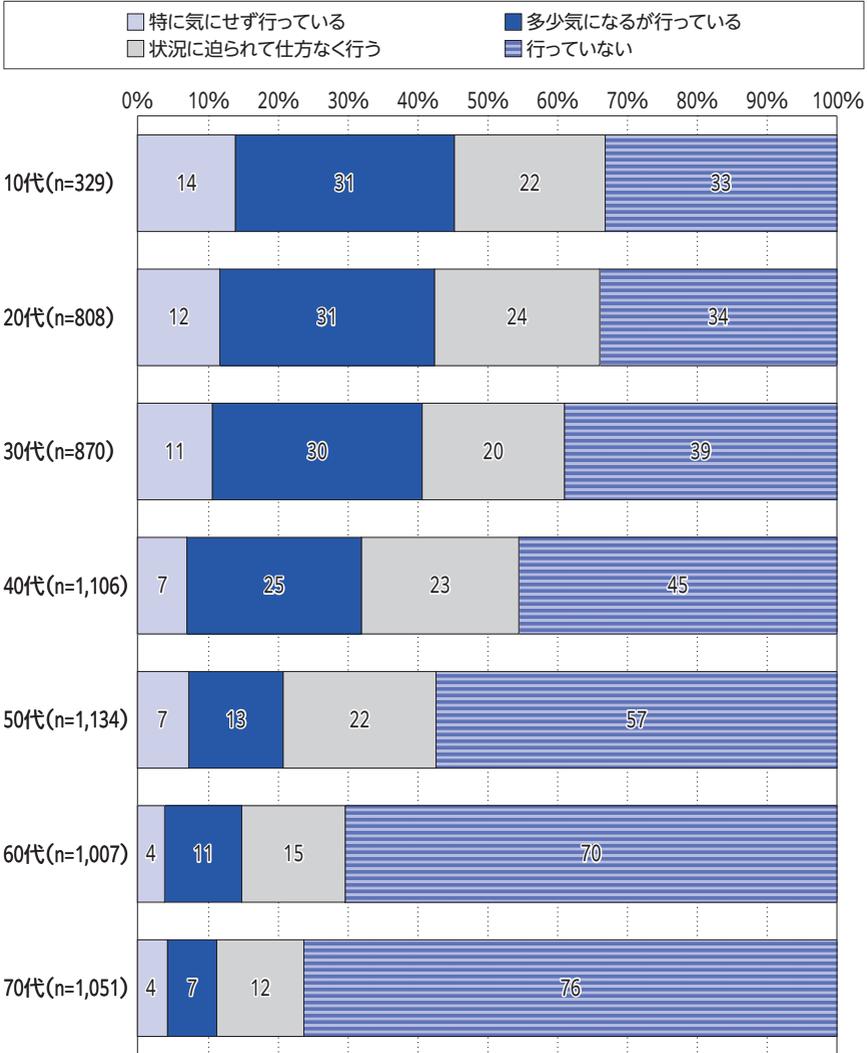


注：携帯電話所有者が回答。

出典：2010年-2024年一般向けモバイル動向調査(2011年-2014年は非聴取)

**資料5-2a 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動
—歩行中の使用—[年代別] (単一回答)**

- 歩行中の携帯電話の使用の割合は10～30代が高く、10代では7割弱を占める。
- 40代以上は年代が上がるにつれて「歩行中の使用」は少なくなり、「気にせず行う」の割合は1割未満。



注：携帯電話所有者が回答。

出典：2024年一般向けモバイル動向調査

**資料5-2b 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動の
年次推移—歩行中の使用—〔年代別〕(単一回答)**

●50代以下では前年よりやや増加した。

(%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
2010年 (n=2,542)	76	76	67	59	52	42	37
2015年 (n=2,420)	60	56	46	38	35	28	23
2016年 (n=2,451)	57	55	47	45	35	29	23
2017年 (n=2,556)	46	62	55	41	35	27	24
2018年 (n=5,085)	54	54	48	43	34	26	21
2019年 (n=6,136)	71	64	57	47	34	23	19
2020年 (n=6,362)	64	69	59	47	34	28	22
2021年 (n=8,249)	57	67	59	46	34	28	21
2022年 (n=6,587)	55	62	58	48	34	28	19
2023年 (n=6,423)	66	64	57	46	41	31	25
2024年 (n=6,305)	67	66	61	55	43	30	24

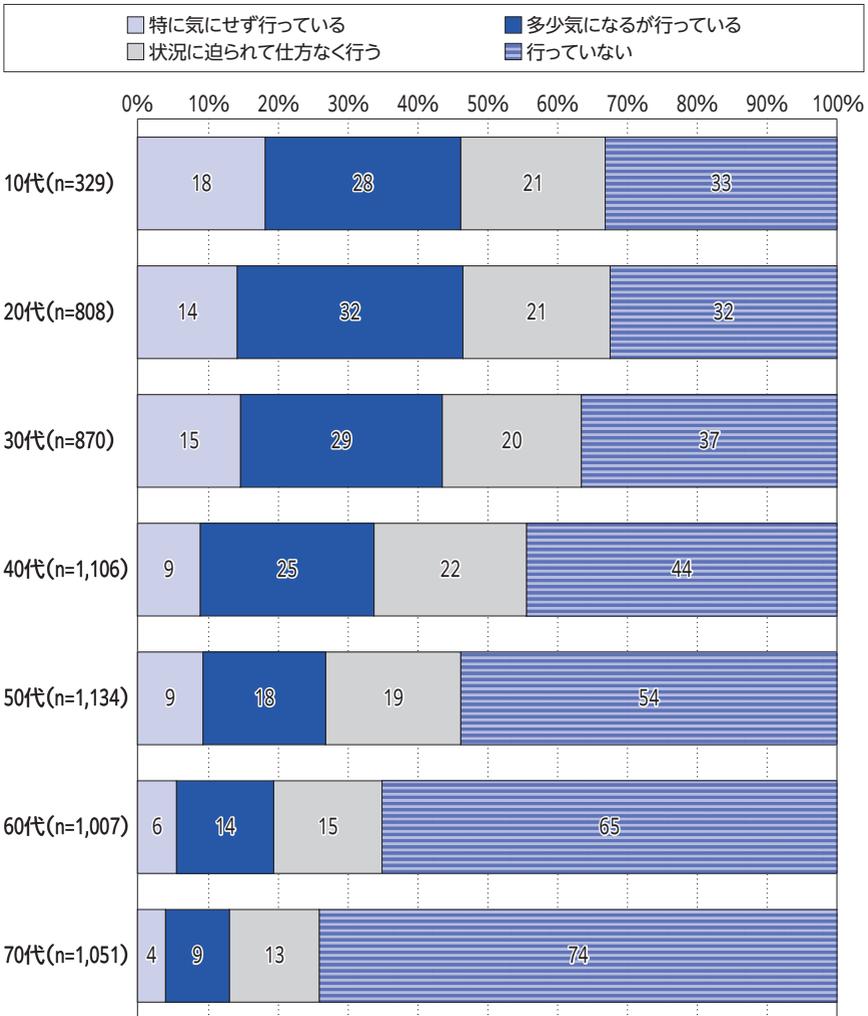
注1:「特に気にせず行っている」「多少気になるが行っている」「状況に迫られて仕方なく行う」の合計。

注2: 携帯電話所有者が回答。

出典: 2010年-2024年一般向けモバイル動向調査(2011年-2014年は非聴取)

**資料5-3a 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動
—食事中の使用—[年代別] (単一回答)**

- 歩行中の使用と同様、食事中の携帯電話の使用の割合も10～30代が高く、6割以上が実施。また「気にせず行う」の割合も1割強で40代以上の年代と比較して高い。
- 40代以上は年代が上がるにつれて使用する割合が減少。



注：携帯電話所有者が回答。

出典：2024年一般向けモバイル動向調査

資料5-3b 自身が公衆の面前で携帯電話を使って行っている行動の 年次推移—食事中的使用— [年代別] (単一回答)

●全体的に緩やかに増加の傾向にある。

(%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
2010年 (n=2,542)	61	62	53	46	37	32	29
2015年 (n=2,420)	48	53	44	35	34	25	21
2016年 (n=2,451)	53	56	47	38	33	27	25
2017年 (n=2,556)	46	59	53	39	33	26	23
2018年 (n=5,085)	47	56	48	41	32	26	22
2019年 (n=6,136)	63	65	57	45	36	28	21
2020年 (n=6,362)	56	66	58	48	38	32	24
2021年 (n=8,249)	57	66	61	48	38	31	24
2022年 (n=6,587)	56	64	62	50	37	31	23
2023年 (n=6,423)	63	64	60	47	43	34	26
2024年 (n=6,305)	67	68	63	56	46	35	26

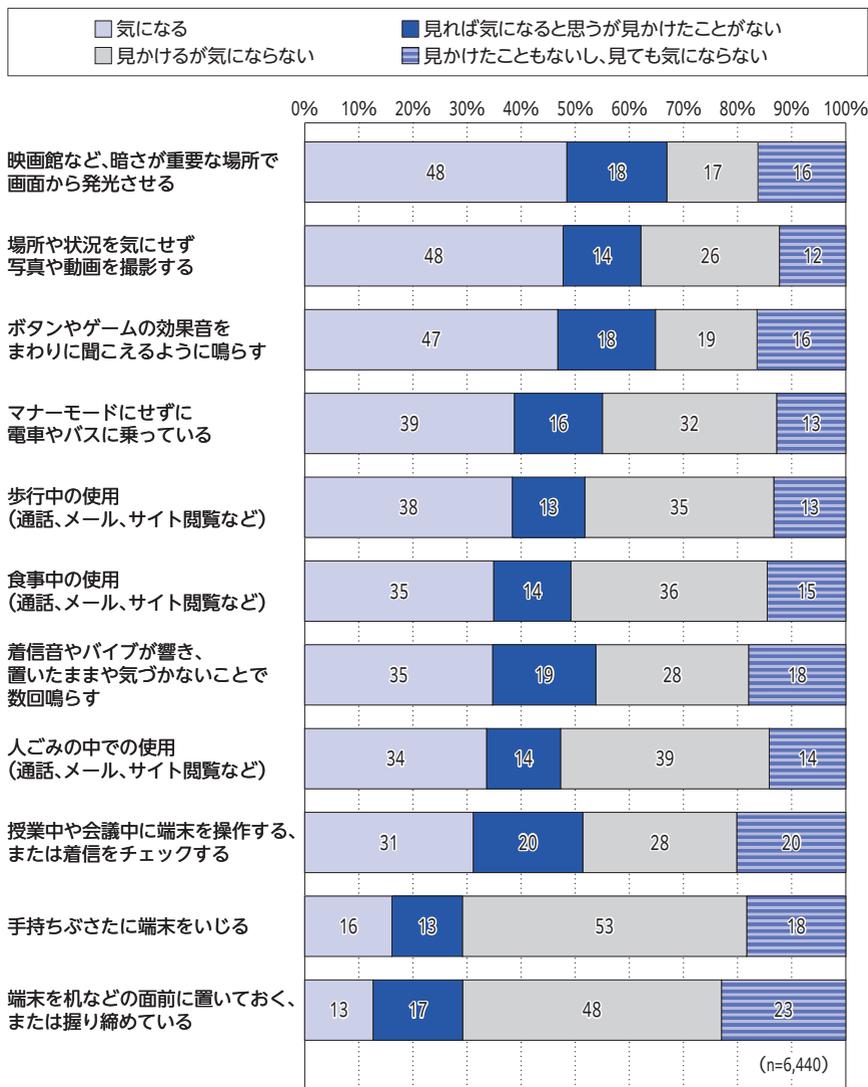
注1：「特に気にせず行っている」「多少気になるが行っている」「状況に迫られて仕方なく行う」の合計。

注2：携帯電話所有者が回答。

出典：2010年-2024年一般向けモバイル動向調査(2011年-2014年は非聴取)

資料5-4 他者が携帯電話を使って行っている行動で気になること (単一回答)

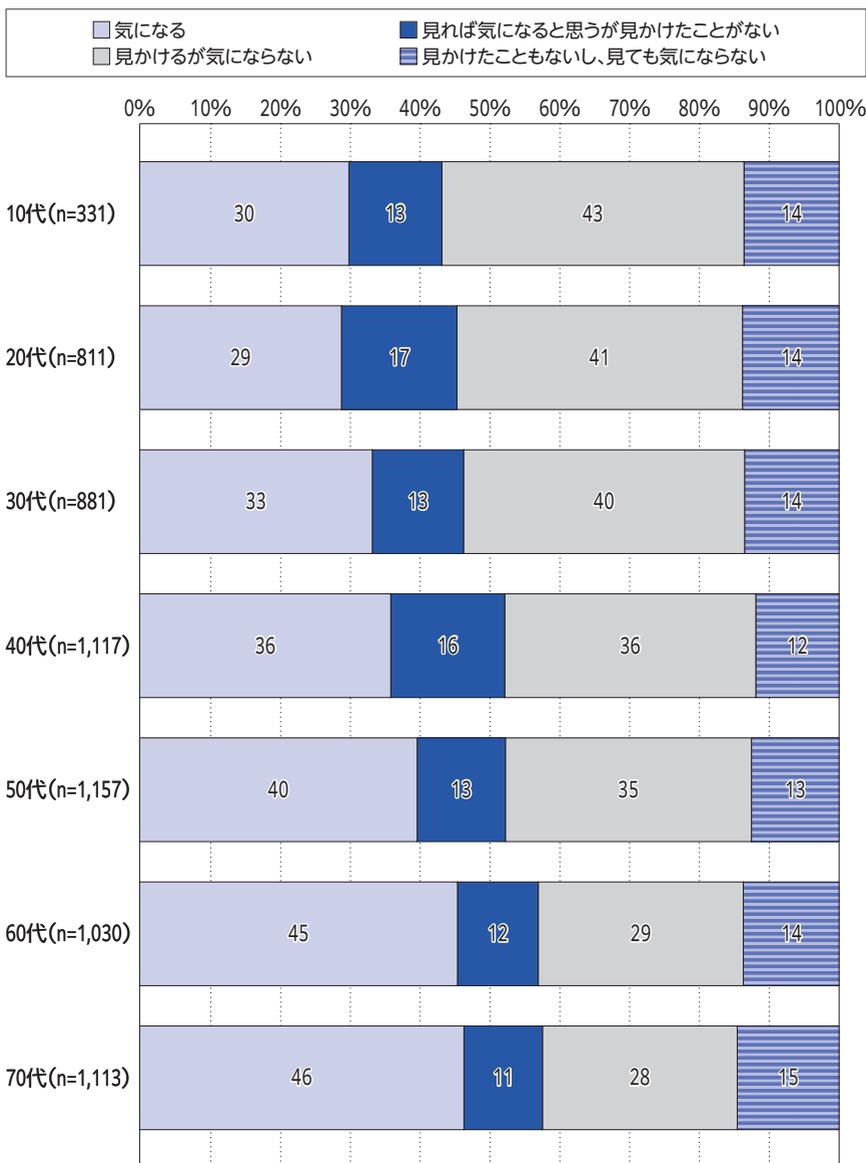
- 音や光に関する事項については、5割程度が「気になる」と回答。
- 一方、「手持ちぶさたに端末をいじる」「端末を面前に置く」は「見かけると気が気にならない」が4～5割程度となる。



出典：2024年一般向けモバイル動向調査

資料5-5 他者の歩行中の携帯電話の利用が気になるか[年代別](単一回答)

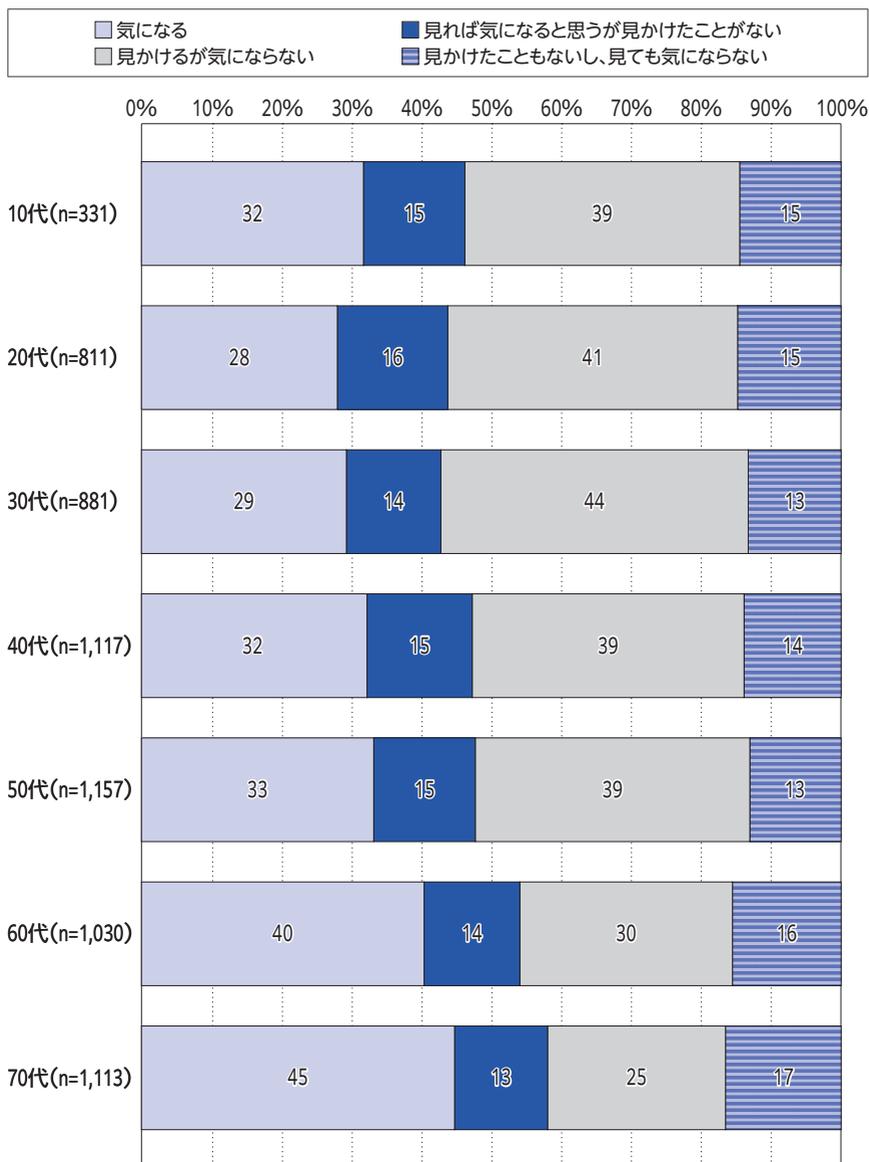
●年代が上がるに伴い「気になる」という割合が高まり、70代では5割弱が「気になる」と回答。



出典：2024年一般向けモバイル動向調査

資料5-6 他者の食事中的携帯電話の利用が気になるか[年代別](単一回答)

●年代が上がるに伴い「気になる」という割合が高まり、60代以上は4割以上が「気になる」と回答。



出典：2024年一般向けモバイル動向調査

第2節

携帯電話のセキュリティ対策

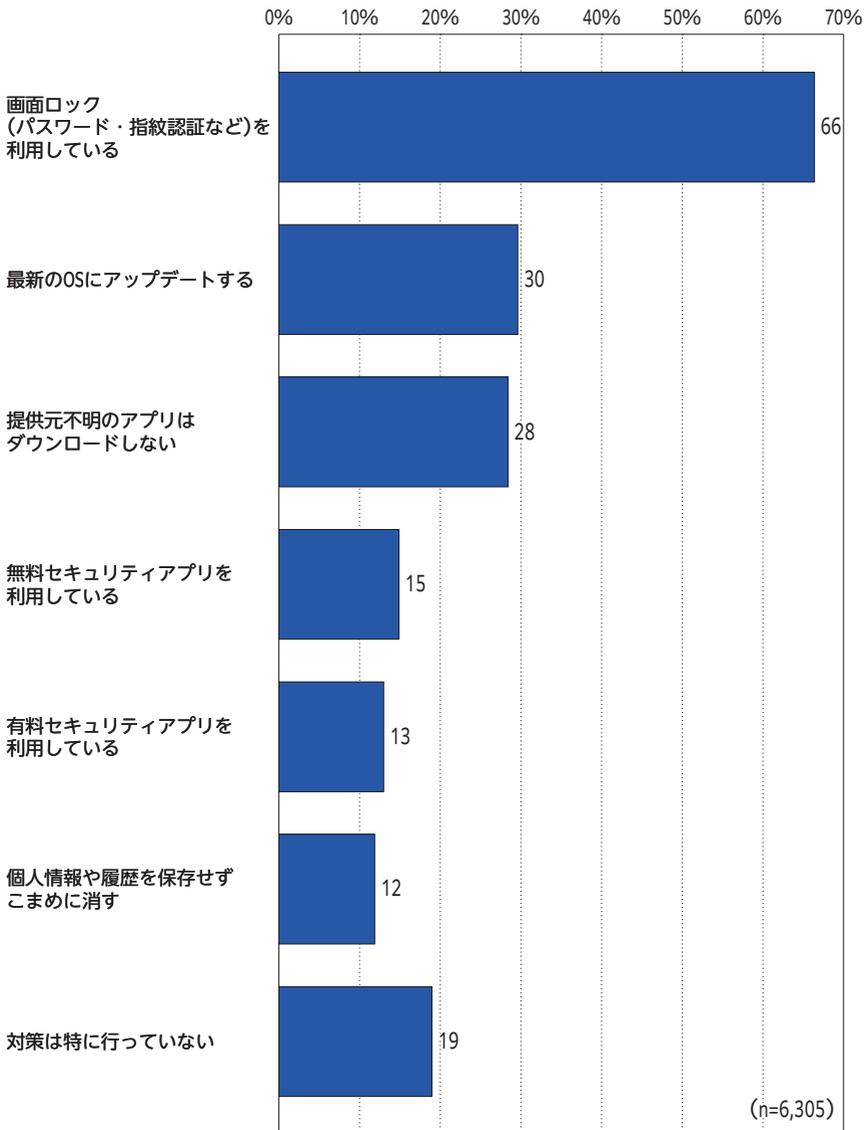
セキュリティ対策、子どもへのフィルタリング

ポイント

- 「画面ロック」は年々増加傾向にあり、「対策は行っていない」は減少の傾向(資料5-7b)。
- 18歳未満の子どもへのフィルタリング設定率は、2017年からやや増加傾向であり2024年で41%まで伸長(資料5-9)。

資料5-7a 携帯電話へのセキュリティ対策(複数回答)

- 携帯電話のセキュリティ対策として、「画面ロック」が6割強。
- 「対策は特に行っていない」は約2割となった。



注：携帯電話所有者が回答。

出典：2024年一般向けモバイル動向調査

資料5-7b 携帯電話へのセキュリティ対策の年次推移(複数回答)

- 「画面ロックを利用している」は年々増加傾向にあり、「対策は特に行っていない」は減少の傾向。

(%)

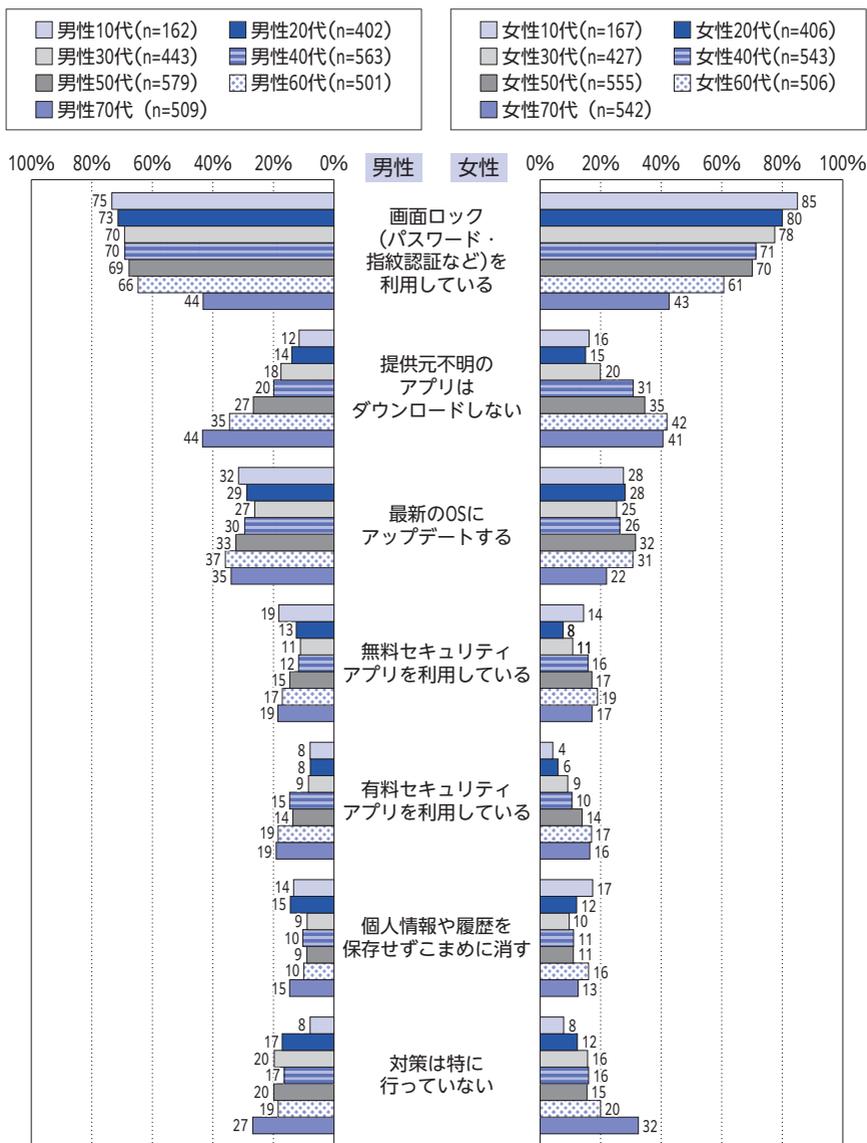
	画面ロックを利用している	画面ロックを定期的に変更している	スマホ・ケータイ以外で利用しているパスワード・パターンなど異なるものを使っている	無料セキュリティアプリを利用している	有料セキュリティアプリを利用している	個人情報や履歴を保存せずこまめに消す	他人から見られないようにする	提供元不明のアプリはダウンロードしない	最新のOSにアップデートする	Wi-Fiネットワークへ常時接続せずに利用時のみ接続している	その他	対策は特に行っていない
2014年 (n=2,743)	27			12	5	7	10	14	9	5	0	54
2015年 (n=2,420)	29	5	12	12	5	7	12	15	11	6	0	49
2016年 (n=2,451)	34	6	15	14	9	9	15	21	17	9	1	39
2017年 (n=2,556)	37	7	12	15	8	8	14	19	16	7	0	40
2018年 (n=5,085)	33	6	13	15	9	9	16	20	17	10	0	41
2019年 (n=6,136)	51	4	15	18	10	10	18	24	24	10	0	27
2020年 (n=6,362)	58	4	17	17	11	11	18	27	26	12	0	23
2021年 (n=8,249)	63	5	19	18	13	12	21	30	30	12	0	20
2022年 (n=6,587)	61	6	18	15	12	12	20	28	28	12	0	22
2023年 (n=6,423)	65	6	20	15	12	13	22	29	30	12	0	19
2024年 (n=6,305)	66	6	19	15	13	12	21	28	30	10	0	19

注：携帯電話所有者が回答。

出典：2014年-2024年一般向けモバイル動向調査

資料5-8 携帯電話へのセキュリティ対策[性年代別] (複数回答)

- すべての年代で「画面ロック」がトップ。男性70代は「提供元不明のアプリはダウンロードしない」も同率でトップ。

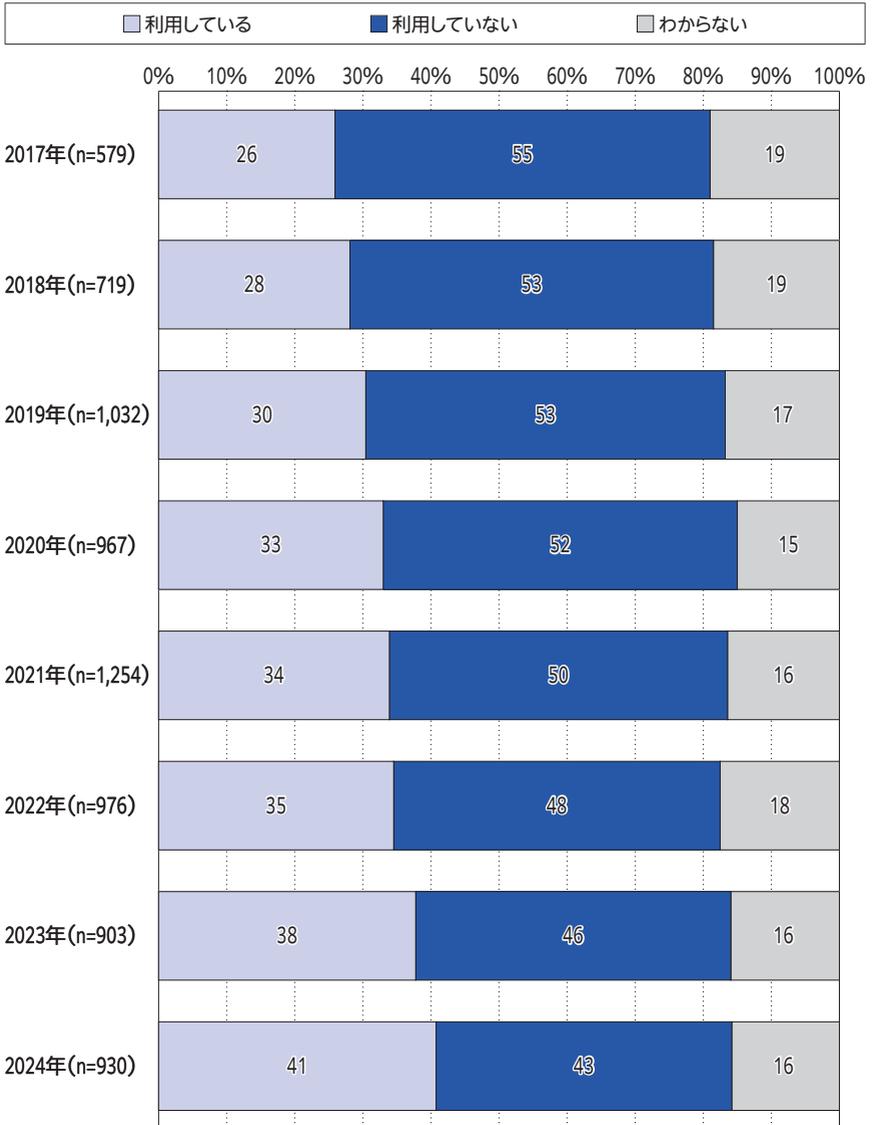


注：携帯電話所有者が回答。

出典：2024年一般向けモバイル動向調査

資料5-9 フィルタリング設定率の年次推移(単一回答)

- 18歳未満の子どもへのフィルタリング設定率は、2017年からやや増加傾向であり2024年で41%まで伸長。



注：携帯電話を所有している18歳以下の子どもと同居している保護者が回答。

出典：2017年-2024年一般向けモバイル動向調査